

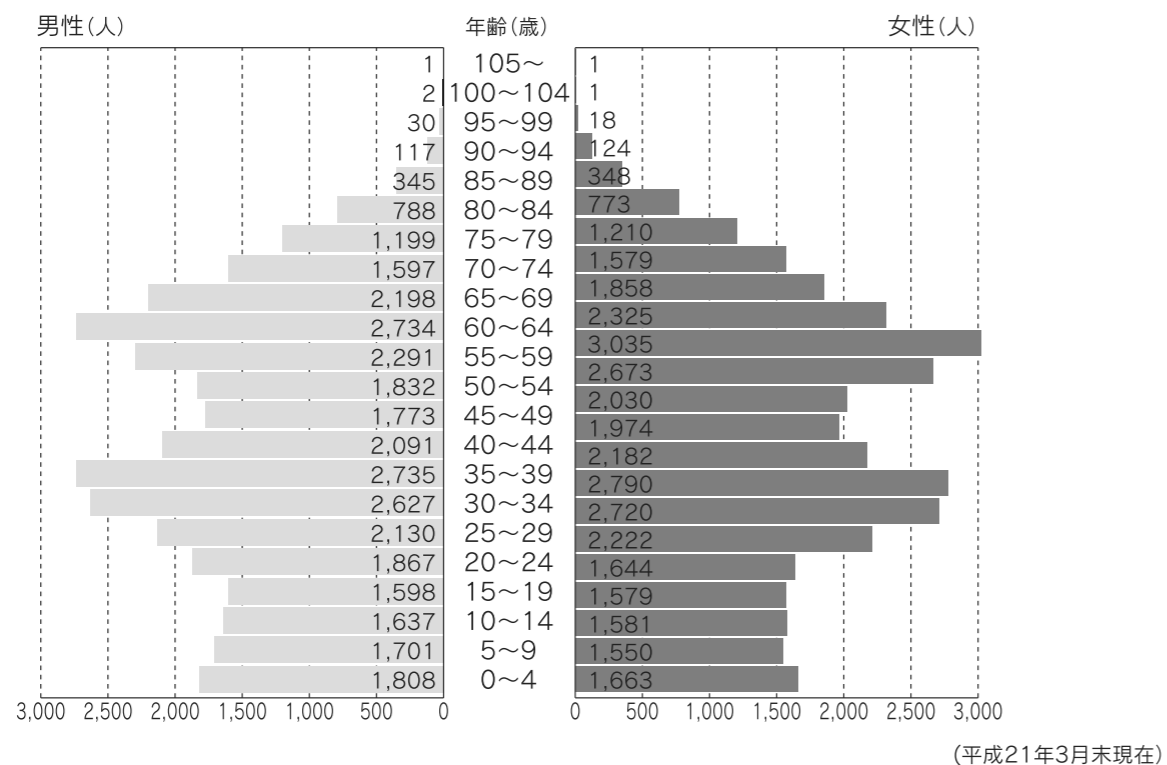


「太宰府市スポーツ振興基本計画」
の策定にあたって

今日、わが国では日常生活における利便性の向上、情報化社会の進展、*1グローバル化など科学技術の発展により、私たちは便利で快適な生活ができるようになりました。

しかしその一方で、都市化が進み、体を動かす場所や機会の減少・人間関係の

【表1-1】太宰府市の年齢別人口構成図



【表1-2】国県体力合計点比較

		全国平均 体力合計点	福岡県平均 体力合計点	福岡県の全国順位 (47都道府県中)
小学5年生	男子	54.19	53.74	32位
	女子	54.59	53.01	40位
中学2年生	男子	41.36	39.75	39位
	女子	47.94	45.39	42位

〔参考データ: 文部科学省「平成21年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」〕

【表1-3】昭和60年度との全国平均体力水準比較

小学校5年生		握力 (kg)	反復横とび (点)	50m走 (秒)	ソフトボール投げ (m)
男子	昭和60年度	18.35	39.46	9.05	29.94
	平成21年度	16.96	40.81	9.37	25.41
	差	△ 1.39	1.35	△ 0.32	△ 4.53
	昭和60年度の水準 を下回る人の割合	61.9%	37.3%	57.4%	68.8%
女子	昭和60年度	16.93	37.94	9.34	17.60
	平成21年度	16.34	38.49	9.64	14.61
	差	△ 0.59	0.55	△ 0.30	△ 2.99
	昭和60年度の水準 を下回る人の割合	54.0%	41.2%	59.0%	73.5%

中学校2年生		握力 (kg)	持久走 男1,500m 女800m (秒)	50m走 (秒)	ソフトボール投げ (m)
男子	昭和60年度	31.61	366.40	7.90	22.10
	平成21年度	29.82	396.81	8.05	21.25
	差	△ 1.79	△ 30.41	△ 0.15	△ 0.85
	昭和60年度の水準 を下回る人の割合	59.1%	64.2%	49.2%	52.6%
女子	昭和60年度	25.56	267.11	8.57	15.36
	平成21年度	23.96	294.52	8.90	13.37
	差	△ 1.60	△ 27.41	△ 0.33	△ 1.99
	昭和60年度の水準 を下回る人の割合	61.0%	71.4%	60.8%	66.8%

〔参考データ: 文部科学省「平成21年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」〕

施策推進上の3つの考え方

①事業改革

より多くの市民にスポーツ活動の機会を提供するために、これまでのスポーツ事業の成果や意識調査等の結果を活かしつつ、新たなスポーツ環境の創造をめざして事業の変革を図ります。

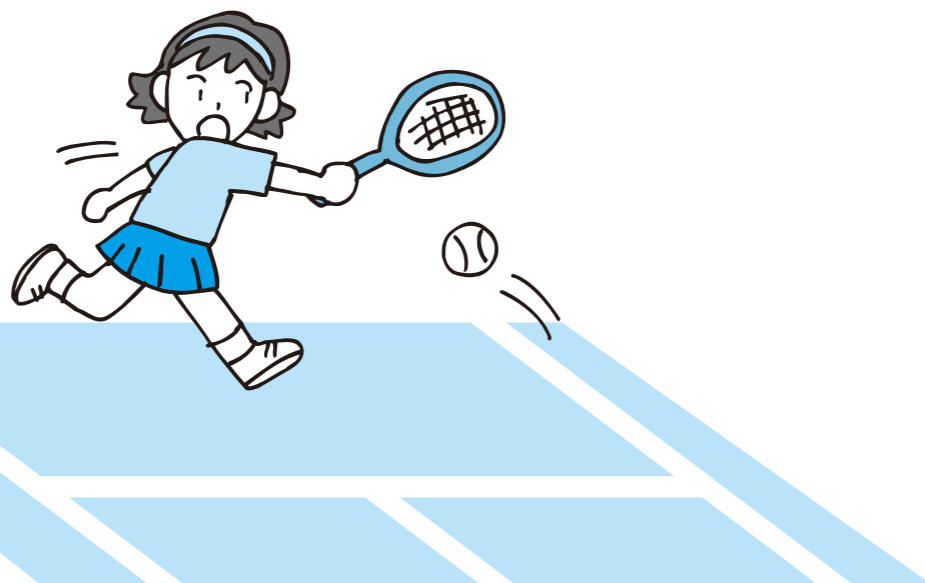
②意識改革

自発性、主体性が尊重されるものというスポーツの文化的特性を踏まえ、「行政主導」のスポーツ振興から「市民主導」のスポーツ振興への変革を進めていきます。

また、一部の競技スポーツ指導に見られるような、行き過ぎた勝利至上主義によるスポーツ指導については、勝利を目指すなかで本来そのスポーツが持つ楽しさや道徳的規範を教える指導への意識の変革等をすすめていきます。

③組織改革

行政や学校、地域、スポーツクラブなど、関係団体が市のスポーツ振興におけるそれぞれの役割や位置づけを明確にするとともに、組織間の連携強化を図ることで、市全体で広域的なスポーツ振興に取り組んでいきます。



施策推進の5つの段階

第一段階 きっかけづくり

子どもから高齢者まで、年齢・体力・目的に応じて市民の誰もがスポーツに興味を持ち、親しんでいくための機会を設けたり、情報を提供するなどのきっかけづくりです。



第二段階 人づくり

市主催スポーツ行事や地域スポーツ活動、学校、競技団体などでスポーツに関する専門知識を有する指導者やコーディネーター、スポーツ活動を支えるボランティアを発掘・育成したり、彼らを有効活用するためのシステムづくりです。



第三段階 組織づくり

スポーツ行政の総合的な推進と、スポーツ団体や関連組織への支援・充実、生涯スポーツ振興を図るための仕組みづくりです。



第四段階 環境づくり

*7ユニバーサルデザインを基調にした公共スポーツ施設及び設備、用具などの整備・充実等、誰もが楽しく快適にスポーツ活動を行っていくための環境づくりです。



第五段階 社会づくり

行政・学校・地域等のネットワークを構築し、市全体で生涯スポーツの振興に取り組んでいくための体制づくりです。

基本理念 いきいきとし

たスポーツライフの創造

施策推進上の 3つの考え方

事業改革

より多くの市民がスポーツを享受できるスポーツ環境の創造

意識改革

市民主導のスポーツ振興への変革

組織改革

組織の在り方の再検討と、組織間の連携強化

	地域スポーツ		競技スポーツ		青少年スポーツ	
第1段階 きっかけづくり	目標	市民のニーズに即応した地域における運動・スポーツの普及	目標	競技スポーツへの出会いの場づくり	目標	子どもが生涯にわたってスポーツに親しむことのできる素養づくり
	施策	(1)誰でも楽しめる運動・スポーツの振興 (2)子どもが体を動かすことを楽しむことのできる運動・スポーツの振興 (3)高齢者の運動・スポーツの振興 (4)障がい者の運動・スポーツの振興 (5)地域スポーツ行事への支援 (6)スポーツ関連情報の整備と提供	施策	(1)競技スポーツの普及と振興 (2)レベルの高い技術に触れる機会の充実 (3)スポーツ観戦の促進 (4)スポーツ団体、選手への表彰と市民への周知	施策	(1)学校における子どもの体力向上事業の推進 (2)学校における保健体育授業の充実 (3)学校運動部活動の充実 (4)地域スポーツクラブ等による青少年育成体制の充実
第2段階 人づくり	目標	地域のスポーツ活動を支える人づくりの推進	目標	地域の人的、知的資源を活かしたアスリート指導体制の構築	目標	スポーツを通じて心豊かな青少年を育む指導者づくり
	施策	(1)地域スポーツ指導者の発掘と育成 (2)地域のスポーツ事業コーディネーターの発掘と育成 (3)スポーツボランティアの育成と活用 (4)スポーツリーダーバンクの整備と活用	施策	(1)競技スポーツ指導者の育成と活用 (2)高等学校・大学及び民間スポーツクラブ等の人的、知的資源の活用	施策	(1)青少年スポーツ指導者の指導力の向上 (2)学校体育及び運動部活動における外部指導者の活用
第3段階 組織づくり	目標	地域におけるスポーツ普及のための組織づくりの推進	目標	各学校及び競技団体等を核とした競技力向上推進体制の整備	目標	将来の生涯スポーツ社会を担う青少年育成の組織づくり
	施策	(1)スポーツ行政の総合的な推進 (2)体育指導委員活動の支援と充実 (3)総合型地域スポーツクラブの充実 (4)体育協会の地域スポーツにおける活動の充実	施策	(1)小中高一貫指導体制の確立による競技力向上 (2)体育協会による競技力向上体制の充実	施策	(1)スポーツ少年団の支援と充実 (2)少年期における複数運動の推進
第4段階 環境づくり	目標	地域における生涯スポーツ活動の場の充実	目標	市民が快適にスポーツができる環境づくり	目標	子どもが安心して体を動かすことのできる場の整備
	施策	(1)既存の社会体育施設の効率的な利用の促進 (2)公園、自然のスポーツへの効率的な利用の促進	施策	(1)社会体育施設の計画的な改修 (2)開放施設の拡大 (3)本市のスポーツ振興に即した総合体育館の建設	施策	(1)学校体育施設の充実 (2)子どもの心身の育成を図るための学校体育施設の複合利用の促進
第5段階 社会づくり	目標	地域における生涯スポーツコミュニティの構築	目標	競技力向上をめざす市全体での一貫指導体制づくり	目標	学校間及び地域との連携と青少年の豊かなスポーツライフの推進
	施策	(1)市のスポーツ組織の連携 (2)民間スポーツ団体や企業、文化系サークルとの連携 (3)自治会組織間のスポーツネットワークの構築	施策	(1)競技スポーツにおける市全体での一貫指導体制の整備 (2)県民体育大会における競技力の向上	施策	(1)同種学校間、小中学校間の交流と連携 (2)学校と地域スポーツ組織の連携による青少年スポーツの活動機会の確保 (3)市内留学生等とのスポーツを通じた国際交流

<目標>
すべての市民があらゆる機会、あらゆる場所においてスポーツに親しむことのできるまちづくり

<目標>
市民にスポーツを通じて夢や感動を与えるような競技者を育むことのできる、活力あるまちづくり

<目標>
スポーツを通じて健康で心豊かな青少年を育むまちづくり